･･･令和８年８月２－１メルマガ便り･････ **ヱビス･ＩＳ**

▼△扇風機やエアコンで火災発生！安全に使うための注意点は？△▼

いよいよ夏本番。これからの暑さを乗り切るための必需品といえば、扇風機とエアコンです。しかし、身近な家電である扇風機やエアコンでも、使い方の誤りやメンテナンス不足などで火災などの事故が発生しています。事故を防ぎ、扇風機やエアコンを安全に使用するために、注意すべきポイントを紹介します。

■扇風機を使うときの注意点は？

〜古い扇風機は経年劣化による火災に注意

この夏も節電対策のため、扇風機を使うという人も多いのではないでしょうか。

しかし、扇風機から煙が出たり発火したりする事故が毎年のように発生しています。

なかには、家屋の全焼や死亡事故につながった例もあります。

特に扇風機の火災事故は、製造から10年以上経っている製品で多く発生しています。多くは劣化した部品が使用中に発熱や発火し、火災につながっています。

扇風機の事故は2019年度から2023年度の5年間に63件発生しています。

＜主な火災事故原因＞

・長期使用により、内部配線が首振り機能などで繰り返し折り曲げられることで断線し、スパークが発生し、発火

・長期使用により、モーター部品が劣化してスパークが発生し、発火

・長期使用により、モーター用コンデンサーが徐々に絶縁劣化し、ショートすることで発熱・発火

扇風機による事故の中には、

「動いていないため、スイッチが切れていると思ったが切れていなかった」

「スイッチを入れたものの動かなかったため、そのままにしていた」ため、

事故に至った事例も報告されています。

特に製造から長期間経過した扇風機においては、異常が見られなくても、使用を中止するか、使用しないときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、次のような異常がないか確認し、一つでも該当する場合は、すぐに使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜き、メーカーや販売店などに相談しましょう。

＜こんな異常に注意＞

・スイッチを入れても、羽根が回らない

・羽根が回っても、回転が異常に遅かったり不規則だったりする

・羽根が回転するときに異常な音や振動がする

・モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがしたりする

・羽根にヒビが入っている。ガードが変形している

・電源コードが折れ曲がっていたり破損したりしている

・使っているときに電源コードに触れると、羽根が回ったり回らなかったりと不安定である

10年以上使用している扇風機は細かく点検し、異常があれば、すぐに使用を中止してください。

■エアコンを使うときの注意点は？
～室内機・室外機ともに異常がないか、確認を

エアコンでも発火・火災などの事故が発生しています。エアコンの事故は2018年度から2022年度の5年間に302件発生しています。そのうち9件が死亡事故です。

＜主な火災事故原因＞
・電源コードの改造や修理、接続（ねじり接続、延長コードとの接続）により接続部分が接触不良で異常発熱、発火
・エアコン洗浄により洗浄液が機器内部に侵入してトラッキング現象が発生し、発煙・発火
・機器内部に小動物等が侵入し、基板に接触することによってショート、異常発熱

エアコンのプラグは延長コードにつながずに、専用のコンセントに直接つなぎましょう。エアコンは消費電力が大きいため、延長コードにつなぐと、定格消費電力を超え、発熱・発火のおそれがあります。エアコンのプラグは、定期的にほこりを掃除し、エアコンを使用しない期間はコンセントから抜いておきましょう。

発火・火災などの事故を防ぐために、次のような症状がないかチェックしてください。異常がある場合は、すぐに使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店又はメーカーに相談するようにしてください。

＜こんな異常に注意＞
・電源コードや電源プラグが異常に熱い
・電源プラグが変色している
・焦げくさいにおいがする
・ブレーカーが頻繁に落ちる
・異音がする
・室内機から水漏れがする

■製品事故から身を守るために「製品安全ガイド」をチェック

扇風機やエアコン以外の製品についても、経年劣化や誤った使い方などによって、様々な製品事故が発生しています。

消費者が製品を安全に正しく使用し、製品事故から身を守るため、経済産業省では、リコール情報などの製品安全に関する様々な情報を経済産業省「製品安全ガイド」で紹介しています。

また、NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）「製品安全」では、製品事故に関する注意喚起チラシやポスター、事故の再現動画などを公表しています。

これらの情報を活用し、製品事故から身を守りましょう。

・経済産業省「製品安全ガイド」
https://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

・NITE（製品評価技術基盤機構）「製品安全」
https://www.nite.go.jp/jiko/

以上